



8月 19日(土) 20日(日)

中心市街地の活性化事業として恒例となった「まるがめ娑婆羅まつり」を、8月19日(土)、20日(日)に開催します。4,000発の花火大会や娑婆羅ダンス「風起」の演舞など、丸亀市の夏を代表するお祭りに、みなさんぜひお越しください。



娑婆羅ダンス「風起」

- と き=8月19日(土)・午後1時半
20日(日)・午後10時半
- ところ=JR丸亀駅周辺および商店街

花火大会「娑婆羅花火」

- と き=8月19日(土)・午後8時~9時
(雨天順延)
 - ところ=丸亀港周辺
- ※お車でお越しの人は、丸亀競艇場および同駐車場を無料開放します

バサラ☆キッス

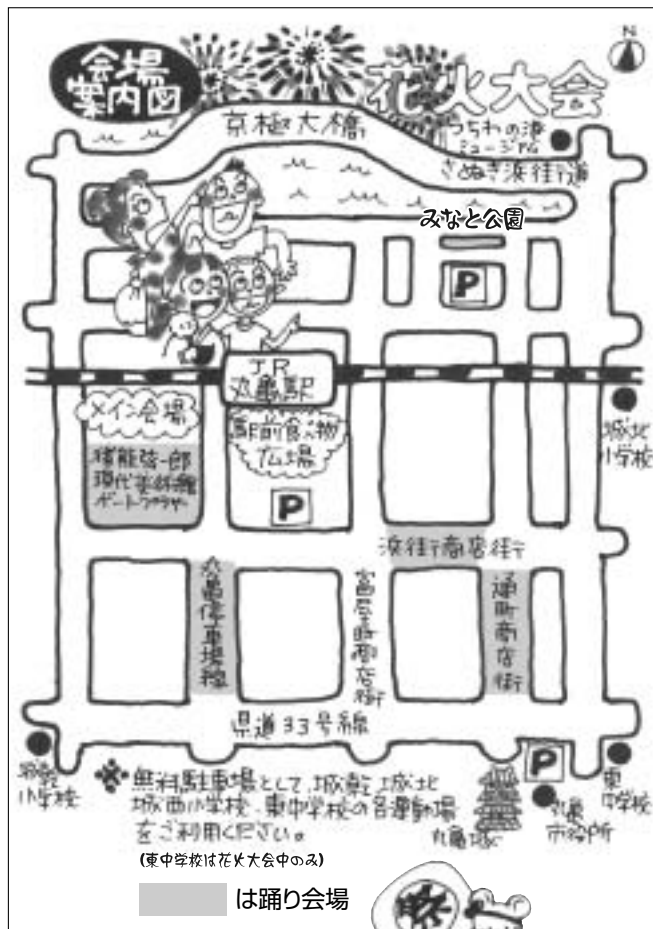
- と き=8月20日(日)・午後10時半
- ところ=丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
ゲートプラザ、停車場線など

みなと公園会場

- と き=8月19日(土)・午後3時半
- ※縁日の屋台出店、娑婆羅ダンス「風起」など

食べ物広場

- と き=8月19日(土)、20日(日)
- ところ=JR丸亀駅前広場
- ※焼きそば、うどん、かき氷、生ビール、ジュースなど



《問い合わせ先》
丸亀商工会議所 (☎@2371)、娑婆羅準備室
(☎@1588・午後1時~5時)
《娑婆羅まつりホームページ》
<http://www.marugame-yeg.jp/basara/>



企業の取り組みを支援

企業は、「豊かな社会づくりに貢献する」という社会的責任を担っていることから、人権問題に積極的に取り組む必要があります。
市では、公正採用の推進と人権が大切にされ、だれもが能力を発揮し、安心して働きやすい職場づくりを呼び掛けています。
そのために情報の提供や研修・教材での啓発、講師派遣などの支援を行うとともに、職場研修の指導者を養成する講座も開催しています。

募者の答えやすい身近な問題、例えば起床時間、趣味、筆記試験の感想など
②本質問・適性や能力・意欲などを判定するために、会社に対する印象、希望動機、得意学科、本人の長所、資格や技能などの質問
③情報交換・本人の就職意思を確認するために残業や出張・転勤の有無など
④結び・労をねぎらい結びとします。

差別身元調査

大阪府は九八年、「大阪府部落差別調査等規制条例」に基づいて大阪市内の調査会社を営業停止にしました。

同社は約千四百社の会員を抱え、会員企業の身元調査を引き受けていました。調査は人物評価から宗教、思想、民族、政治活動、家族など、プライバシー全般に及んでいました。調査依頼の七〇八割が採用に関する調査でした。県内企業も数社、入会していました。会費は第一種会員年間会費二百万円。調査は一件二万円で会費から引き落とししていました。

▽調査事例

A子さん(大阪府出身)は履歴書住所欄に「※」と記入されて不採用になりました。「※」は「同和地区」の暗号です。

B君(愛知県出身)は父親の労働組合活動が、C子さん(兵庫県出身)は家族の信仰が調査されていました。

県内での身元調査事件

一九六九年、興信所調査員が三豊郡(当時)の役場で、ある男性の

人権講演会

あなたに愛が語れますか

と き=8月10日(木)
午後2時開会

ところ=まなびらんど
3階ホール

講師=江嶋 修作さん
(解放社会学
研究所所長)

入場無料

戸籍謄本を入手、それを元に「血統調査報告書」を作成し、結婚は破談になりました。滋賀の呉服商が、娘の結婚で相手の身元調査を興信所に依頼したものでした。
一九七九年夏には、新居浜市の女性が興信所に青年の身元調査を依頼し、興信所調査員が丸亀市役所で不正に青年の除籍簿を入手する事件が起きました。
二〇〇四年には、神戸の行政書士が戸籍謄本を不正取得していた事件が発覚しました。この行政書士は、興信所六社から頼まれて香川県内の役場など各地で六百五十三件を不正に請求していました。
主申戸籍による差別身元調査事件が多発して、戸籍謄本は弁護士や行政書士など特定の人(八十歳)だけに業務上閲覧を許されていたのを悪用したものです。今なお差

香川県の身元調査規制条例

結婚の間き合わせも「ダメ!」
香川県では、結婚や就職での差別を未然に防止するために「香川県部落差別事象の発生の防止に関する条例」を九六年に施行しました。条例は、県民および県内事業者は、身元調査を①してはいけない、②依頼してはいけない、③引き受けてはいけない、と規定しています。そして部落差別につながる資料提供や部落差別につながるおそれのある行為をしてはいけないと定めています。

別身元調査が行われていることが判明したわけです。